

# 化学療法レジメンセット登録用紙

領域	血液腫瘍	ルート	リザーバー
適応	【NHL】非ホジキンリンパ腫		
No(3桁)	116	CODE	004012001116
診療科	血液内科	医師	伊東
セット名称	Epiricotamab (①サイクル)		
申請年月日	令和 6 年 12月10日		
緊急	●	通常	

抗癌剤名称	手技	標準投与量
エプキンリ		
1サイクル 1日目	s.c	0.16 mg/body
1サイクル 8日目	s.c	0.8 mg/body
1サイクル 15日目	s.c	48 mg/body
1サイクル 22日目	s.c	48 mg/body

リザーバー	末梢	皮下	確認		
		●	医師	看護師	薬剤師
投与時間		総液量 mL			
時間	分	Mg <sup>2+</sup> mEq	K <sup>+</sup> mEq		

※ 1サイクル目の初回の48mg投与後48時間は必ず入院管理

②・③サイクル目 : d1・8・15・22

④-⑨サイクル目 : d1・15      ⑩サイクル以降 : d1

		投与スケジュール: ( 投 休 ) or (投与間隔 28 日) 《 》 クール																													
		Total時間入力	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																										
投与順	Rp	投与時間	-1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	デカドロン錠 16mg +ジフェンヒドラミン錠 50mg +カロナール錠 800mg 手技:内服      経路:投与30-120分前	p.o		●							●								●							●					
2	エプキンリ 0.16mg 手技:皮下注      経路:4mg製剤で調整	s.c		●																											
3	エプキンリ 0.8mg 手技:皮下注      経路:4mg製剤で調整	s.c									●																				
4	エプキンリ 48mg 手技:皮下注      経路:0.8mLでシリンジ払い出し	s.c																	●								●				
5	デカドロン錠 16mg 手技:内服      経路:	p.o			●	●	●					●	●	●						●	●	●					●	●	●		

CRS及びTLSを予防するための水分補給 【参考】国内第 I / II 相試験 (GCT3013-04試験) で以下の対応が追加で規定

1サイクルでは、患者は以下の全ての要件を遵守することが強く推奨された

- ・本剤投与前24時間に2-3Lの水分を摂取する      ・本剤投与前24時間に降圧薬の服用を中断する
- ・本剤投与日は、投与前に等張輸液500mLの投与を受ける。かつ本剤投与後24時間に2-3Lの水分を摂取

CRSの対応・・・Grade1でも下記投与の考慮

【抗サイトカイン療法】 アクテムラ 8mg/kgを1時間かけて点滴(1回800mgを超えない)。8時間以上あけて24時間以内に最大2回投与可能

【ステロイド療法】 DEX10-20mg/日投与を考慮する

投与部位

- ・特に、1-3サイクル目では、大腿部、腹部等に左右交互に投与するなど同一注射部位を避ける